

日本大学における 獣医学教育の現状と課題

日本大学生物資源科学部 獣医学科
渋谷 久



背景

- ・平成26年：コアカリ準拠の現カリキュラム開始
- ・令和元年：カリキュラム完成、2期にわたり学生輩出
- ・令和元年-2年：現カリキュラムの検討
- ・令和3年以降：新カリキュラムに向けて

目次

1. 日本大学の教育方針とシステム
2. 獣医学教育の現状と課題
3. 今後の展望

1. 日本大学の教育方針とシステム

日本大学の教育組織

日本大学の主な研究体制・所在地 16学部 90学科

法学部

法律学科 / 政治経済学科 / 新聞学科 / 経営法学科 / 公共政策学科



芸術学部

写真学科 / 映画学科 / 美術学科 / 音楽学科 / 文芸学科 / 演劇学科 / 放送学科 / デザイン学科



文理学部

哲学科 / 史学科 / 国文学科 / 中国語中国文学科 / 英文学科 / ドイツ文学科 / 社会学科 / 社会福祉学科 / 教育学科 / 体育学科 / 心理学科 / 地理学科 / 地球科学科 / 数学科 / 情報科学科 / 物理学科 / 生命科学科 / 化学科



国際関係学部

国際総合政策学科 / 国際教育学科




理工学部

土木工学科 / 交通システム工学科 / 建築学科 / 海洋建築工学科 / まちづくり工学科 / 機械工学科 / 精密機械工学科 / 航空宇宙工学科 / 電気工学科 / 電子工学科 / 応用情報工学科 / 物質応用化学科 / 数理学科 / 数学科



経済学部

経済学科 / 産業経営学科 / 金融公共経済学科



生産工学部

機械工学科 / 電気電子工学科 / 土木工学科 / 建築工学科 / 応用分子化学科 / マネジメント工学科 / 数値情報工学科 / 環境安全工学科 / 創生デザイン学科



商学部

商業学科 / 経営学科 / 会計学科



三軒茶屋キャンパス

【危機管理学部】危機管理学科

【スポーツ科学部】競技スポーツ学科



日本大学会館

産官学連携知財センター (NUBIC)




工学部

土木工学科 / 建築学科 / 機械工学科 / 電気電子工学科 / 生命応用化学科 / 情報工学科



生物資源科学部

生命農学科 / 生命化学科 / 獣医学科 / 動物資源科学科 / 食品ビジネス学科 / 森林資源科学科 / 海洋生物資源科学科 / 生物環境工学科 / 食品生命学科 / 国際地域開発学科 / 応用生物科学科 / くりしの生物学科



医学部

医学科



薬学部

薬学科



歯学部

歯学科



通信教育部

法学部 (法律学科 / 政治経済学科)

文理学部 (文学専攻 (国文学・英文学) / 哲学専攻 / 史学専攻)

経済学部 (経済学科)

歯学部 (歯業学科)



松戸歯学部

歯学科



短期大学部

【三島キャンパス】

ビジネス教養学科 / 食物栄養学科

【船橋キャンパス】

建築生活デザイン学科 / ものづくりサイエンス総合学科 / 生命物質化学科



湘南キャンパス

生物資源科学部

12学科

- ・生命農学科
- ・生命化学科
- ・動物資源科学科
- ・森林資源科学科
- ・海洋生物資源科学科
- ・生物環境工学科
- ・食品生命学科
- ・応用生物科学科
- ・くらしの生物学科
- ・食品ビジネス学科
- ・国際地域開発学科
- ・獣医学科

大学院

2研究科

- ・生物資源科学研究科
 - ・生物資源生産科学専攻
 - ・生物資源利用科学専攻
 - ・応用生命科学専攻
 - ・生物環境科学専攻
 - ・生物資源経済学専攻
- ・獣医学研究科
 - ・獣医学専攻

日本大学教育憲章 （「自主創造」の3つの構成要素及びその能力）		獣医学科 卒業の認定に関する方針(DP)	
構成要素 （コンピテンス）	能力 （コンピテンシー）	構成要素 （コンピテンス）	能力 （コンピテンシー）
豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。	豊かな教養と獣医学に関する専門的な知識に基づく高い倫理観	[DP1]獣医師として活躍するのに必要とされる豊かな教養・知識・技術を修得し、法令遵守の精神と高い倫理観に基づいて、自らの使命・役割を果たすことができる。
世界の現状を理解し、説明する力	世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。	動物の保健衛生・福祉と公衆衛生・畜産業の向上・発展のために世界を理解し、説明する力	[DP2]日本や国際社会における飼育動物の診療、保健衛生・福祉と公衆衛生の向上、畜産業に関する諸問題を理解し、説明することができる。
論理的・批判的思考力	得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。	獣医師としての論理的・批判的思考力	[DP3]獣医学に関連するさまざまな情報を基に、論理的・批判的な思考をすることができる。
問題発見・解決力	事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	獣医師として問題の発見・探求と解決力	[DP4]日本や国際社会における獣医学に関連する諸問題を発見し、その解決策を提案することができる。
挑戦力	あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。	挑戦力	[DP5]獣医学の発展に寄与するために、新たな問題や課題に果敢に挑戦することができる。
コミュニケーション力	他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。	コミュニケーション力	[DP6]獣医師としての社会的な責務や役割を理解し、自分の考えを正しく伝え、実行することができる。
リーダーシップ・協働力	集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	協働力・連携力・貢献力・リーダーシップ	[DP7]獣医師として適切なリーダーシップを発揮し、さまざまな分野の人々と連携・協働することができる。
省察力	謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。	省察力・研鑽力	[DP8]将来にわたって獣医学に関する専門知識及び技術を省察・研鑽し、獣医学の関わる様々な分野に貢献することができる。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー:DP)

日本大学生物資源科学部獣医学科は、「日本大学教育憲章」を基軸として、動物の健康維持・増進を図るとともに、人の健康と福祉に携わり、地域社会および国際社会に貢献できる獣医師の育成を目的としている。この目的に基づき、**獣医学に関する高い専門性と倫理観**を身につけ、かつ獣医学科の教育研究上の目的に沿って設定した卒業要件を満たした者に**学士(獣医学)**の学位を授与する。

具体的到達目標

【自ら学ぶ】

[DP1]獣医師として活躍するのに必要とされる豊かな教養・知識・技術を修得し、**法令遵守の精神と高い倫理観**に基づいて、自らの使命・役割を果たすことができる。

[DP2]日本や国際社会における飼育動物の診療、保健衛生・福祉と公衆衛生の向上、畜産業に関する**諸問題を理解**し、説明することができる。

【自ら考える】

[DP3]獣医学に関連するさまざまな情報を基に、**論理的・批判的な思考**をすることができる。

[DP4]日本や国際社会における獣医学に関連する諸問題を発見し、その**解決策を提案**することができる。

【自ら道をひらく】

[DP5]獣医学の発展に寄与するために、新たな問題や課題に**果敢に挑戦**することができる。

[DP6]獣医師としての**社会的な責務や役割**を理解し、自分の考えを正しく伝え、実行することができる。

[DP7]獣医師として適切な**リーダーシップ**を発揮し、さまざまな分野の人々と**連携・協働**することができる。

[DP8]将来にわたって獣医学に関する専門知識及び技術を**省察・研鑽**し、獣医学の関わる様々な分野に**貢献**することができる。

2. 獣医学教育の現状と課題

学習・教育目標

1年

2年

3年

4年

5年

6年

基礎獣医学分野

生命の基本的な成り立ち、正常な個体の構造と機能、恒常性維持機構などを理解する。また、薬の作用、病気の原因や病態、病原体などの知識を身につける。

応用獣医学分野

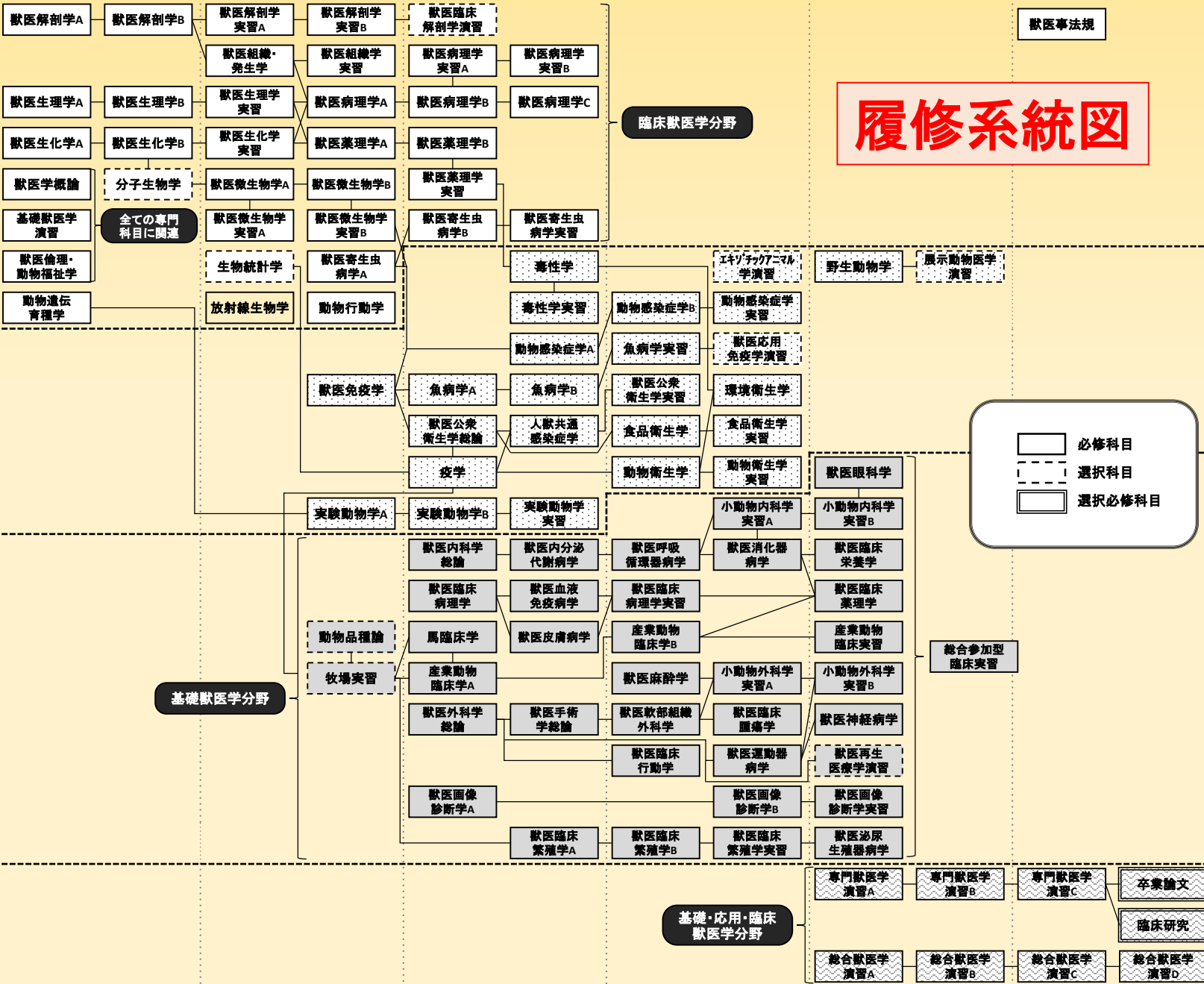
動物とヒトの疾病予防の方策を理解する。ヒトの健康や、動物の疾病を引き起こす要因とその予防に関する知識を身につける。

臨床獣医学分野

各種動物の疾患について、的確な診断、治療方針および予防法を理解する。小動物ならびに大動物臨床において必要な知識と技術を身につける。

総合獣医学分野

獣医師として重要な実践力(問題解決力、科学的創造力、協調性など)を身につける。



履修系統図

Legend for subject types:

- 必修科目 (Required Subject): Solid black box
- 選択科目 (Elective Subject): Dashed black box
- 選択必修科目 (Elective Required Subject): Solid grey box

基礎・応用・臨床獣医学分野

総合参加型臨床実習

単位の基準

講義 90分X15回=2単位

演習 90分X15回=1単位

実習 180分X15回=1単位

専門教育における必須演習科目

1年次:基礎獣医学演習(1単位):獣医学導入教育

5年次:総合獣医学演習A(1単位):職域講義、就活導入

総合獣医学演習B(1単位):学外研修

専門獣医学演習A(1単位):研究室活動Ⅰ

6年次:総合獣医学演習C(6単位):国試対策・総括Ⅰ

総合獣医学演習D(3単位):国試対策・総括Ⅱ

専門獣医学演習B(1単位):研究室活動Ⅱ

専門獣医学演習C(1単位):研究室活動Ⅲ

演習科目の最適な運用

獣医学科 平成26年度カリキュラム(平成26年度以降入学者適用)

		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	開講 単位 数	卒業に 必要な 単位数	
専門教育科目	必修	獣医学概論(2) 獣医倫理・福祉学(2) 獣医解剖学A(2) 獣医解剖学B(2) 動物遺伝育種学(2) 獣医生理学A(2) 獣医生理学B(2) 獣医生化学A(2) 獣医生化学B(2) 基礎獣医学演習(1)	放射線生物学(1) 獣医解剖学実習A(1) 獣医解剖学実習B(1) 獣医組織・発生学(2) 獣医組織学実習(1) 獣医生理学実習(1) 獣医生化学実習(1) 獣医薬理学A(2) 獣医薬理学A(2) 実験動物学(2) 動物行動学(2) 獣医微生物学A(2) 獣医微生物学B(2) 獣医微生物学実習A(1) 獣医微生物学実習B(1) 獣医免疫学(2) 獣医病理学A(2) 獣医寄生虫病学A(2)	獣医薬理学実習(1) 獣医薬理学B(2) 実験動物学B(1) 実験動物学実習(1) 魚病学A(2) 魚病学B(1) 動物感染症学A(2) 獣医病理学B(2) 獣医病理学C(1) 獣医病理学実習A(1) 獣医病理学実習B(1) 獣医寄生虫病学B(2) 獣医寄生虫病学実習(1) 毒性学(2) 毒性学実習(1) 獣医公衆衛生学総論(1) 人獣共通感染症学(2) 疫学(2) 獣医画像診断学A(2) 獣医臨床繁殖学A(2) 獣医外科学総論(1) 獣医手術学総論(1) 馬臨床学(1) 産業動物臨床学A(1) 獣医内科学総論(1) 獣医内分泌代謝病学(1) 獣医臨床病理学(2) 獣医血液免疫病学(1) 獣医皮膚病学(1)	魚病学実習(1) 動物感染症学B(2) 動物感染症学実習(1) 獣医公衆衛生学実習(1) 食品衛生学(2) 食品衛生学実習(1) 動物衛生学(2) 動物衛生学実習(1) 環境衛生学(2) 獣医臨床繁殖学B(2) 獣医臨床繁殖学実習(1) 獣医軟部組織外科学(2) 産業動物臨床学B(2) 獣医呼吸循環器病学(2) 獣医運動器病学(1) 獣医麻酔学(1) 獣医臨床行動学(1) 小動物内科学実習A(1) 小動物外科学実習A(1) 獣医臨床病理学実習(1) 獣医消化器病学(2) 獣医臨床腫瘍学(1) 獣医画像診断学B(1)	野生動物学(1) 獣医泌尿生殖器病学(2) 総合参加型臨床実習(6) 産業動物臨床実習(1) 獣医眼科学(1) 獣医神経病学(1) 獣医臨床薬理学(1) 獣医臨床栄養学(1) 小動物内科学実習B(1) 小動物外科学実習B(1) 獣医画像診断学実習(1) 総合獣医学演習A(1) 総合獣医学演習B(1) 専門獣医学演習A(1) 専門獣医学演習B(1)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #add8e6; padding: 5px;">Vet CBT</div> <div style="background-color: #add8e6; padding: 5px;">vet OSCE</div> </div>	150	150	
	選択 必修							◎卒業論文(6) ●臨床研究(6)	12	6
	選択 (講義)	分子生物学(2)	動物品種論(2) 生物統計学(2)						6	4
	選択 (演習・ 実習)		牧場実習(1)	獣医臨床解剖学演習(1)	エキゾチックアニマル学演習(1) 獣医応用免疫学演習(1)	展示動物医学演習(1) 獣医再生医療学演習(1)			6	4
		専門教育科目 卒業に必要な単位数 合計								164

卒業に必要な単位数 総計

	教養教育科目	基礎専門科目・専門教育科目	総計
単位数	24	164	188

各研究室の担当科目

- ・専門獣医学演習A・B・C(各1単位)
- ・卒業論文・臨床研究(6単位)

基礎系

獣医解剖学
獣医生理学/
獣医病態生理学
獣医生化学/
分子生物学
獣医薬理学
実験動物学

病態系

獣医微生物学
獣医病理学
医動物学
魚病学/
比較免疫学
獣医伝染病学

臨床系

獣医内科学
獣医外科学
獣医放射線学
獣医臨床病理学
獣医臨床繁殖学
獣医産業動物臨床
獣医麻酔・呼吸器学
獣医神経病学

応用系

獣医衛生学
獣医公衆衛生学

- ・23研究室に所属する教員数は**45名**
- ・入学定員120名に対する必要専任教員数は**77名**
(大学基準協会推奨)

獣医学科カリキュラムの進級条件

下記に該当する場合、**進級不可**

- ・必須科目が4教科以上未修得
- ・その年度の実習,演習が未修得
- ・4年から5年の進級時に教養科目が未修得
- ・5年から6年の進級時に共用試験が不合格

在学期間の制限

- ・同一年次に3年間を超えて在籍できない

入学年度別 原級者数合計					
H27	H28	H29	H30	R1	R2
32	28	20	11	5	3

進級条件の厳格化→低学年時より原級予備学生の抽出
→早期の指導→卒業生の学力の保証(DP)



獣医学科の学生数

(令和元年5月10日現在)

学年	入学年度	合計	男	女	女子(%)
1年	H31	131	57	74	56.5
2年	H30	144	62	82	56.9
3年	H29	140	55	85	60.7
4年	H28	135	56	79	58.5
5年	H27	117	42	75	64.1
6年	H26	124	44	80	64.5
計		791	316	475	60.1

3. 今後の展望

1. 現カリキュラムにおける**継続する点**

- ・シラバスに沿った厳格かつ適正な成績評価
- ・進級要件

2. 新カリキュラムに向けての**変更点**

- ・必須単位数の縮小
- ・年次配当の適正化

専門必須科目単位数

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	単位数
現カリ	19	26	40	32	21	18	156
新カリ(案)	18	29	31	34	19	17	148

3. **検討課題**

- ・教員数および施設・設備の充実
- ・学部改組への対応